

測定する能力		
漢字・語彙力	論理的言語力	論理的読解力
漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。	日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえる力。「ことばのつながり」、指示語・接続語などを論理的に扱う力。	文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係、段落全体論理的構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。
		論理的思考力
		論理的表現力
		他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。

《問題Ⅰ》

漢字・語彙力

(40点)

●解答

第一問

- (1) 開放・快方 (2) 正確・性格
(3) 豊富・抱負 (4) 容易・用意

第二問

- (1) 証左 (2) 反目
(3) 迎合 (4) 肉薄

第三問

- (1) 猪突猛進・工
(2) 厚顔無恥・ウ

第四問

- (1) パーティーで母は得意な料理をふるまった。
(2) 長年にわたる研究の成果が問われる。
(3) 朝活に読書を導入する学校が増えた。
(4) 裁判所は物事の仲裁を行う機関といえる。

■配点

- 第一問 各2点 (完全解答ではありません)
第二問 各2点
第三問 各4点 (四字熟語・意味 各2点)
第四問 各4点 (並べかえ・漢字 各2点)

◆解説

第一問

同音異義語の問題。文章から意味を考え、適切な漢字に直します。

第二問

意味から二字熟語を作成します。単漢字の意味を考え、組み合わせを考えましょう。

第三問

文章から適当な四字熟語を考えます。正しい意味と使い方を理解しましょう。

第四問

まず助詞を自立語にくっつけて、文節を作ります。

- (1) 「母は」↓「ふるまった」が主語と述語の関係。あとは、「パーティーで」↓「ふるまった」、「得意な」↓「料理を」

れた、「ゴッホの」↓「絵画が」↓「発見された」とつながります。

第二問

第一問

筆者が「ファンの大きさは無限である」と説明している箇所を探すと、「間接的に無限のファンを持っているのと同じ安心を得ている」という文が見つかります。その前文で筆者の目標が個体としての人間(数えられるもの)にないことが説明されています。

第二問

- (1) 「ファンについて考えたことがない」理由は、空所直後の「ファンという言葉が好きになれない」なので、理由の「なぜならば」。
(2) 直前で試みたことが、直後できていないので、逆接の「しかし」。
(3) 直前で言及された数えられないものを、直後では別の言葉に言い換えているので、換言の「すなわち」。
(4) 筆者が「安心を得ている」理由は、空所直前の筆者のファンのとらえ方にあるので、「だから」。

◆解答

第一問

- B ↓ D ↓ E ↓ A ↓ C

第二問

- (1) イ (2) ウ (3) エ (4) ア

第三問

- (a) ウ (b) エ (c) イ (d) ア

第四問

太陽のリズムではなく月の動きに合わせて野菜を育てる研究が、将来性を秘めたものであると気づいたこと。

■配点

- 第一問 10点 第二問 各2点
第三問 各2点 第四問 14点

◆解説

第一問

冒頭で「潮の満ち引きのリズムで野菜を育てる実験」を紹介しているので、その具体的な説明となるBが最初に来ます。そして、Bで述べられている野菜の成長の要因として、Dで「起潮力」について説明し、続いてEで「言われてみれば」と、関連す

《問題Ⅱ》

論理的言語力

(40点)

●解答

第一問

- (1) エ (2) オ

第二問

問一 私の写真を作る目標は全体としての人間性であって、数えられるものではないために、私は無限のファンを持つていると言えること。
問二 (1) a・オ (2) b・エ
(3) e・イ (4) d・ア

■配点

- 第一問 各6点
第二問 問一 12点
問二 各4点 (完全解答)

◆解説

第一問

- (1) 文全体の述語は「消した」で、これに対する主語は省略されています。「びっしり」↓「書いた」↓「文字を」↓「消した」、「黒板消しで」↓「消した」、「きれいに」↓「消した」とつながります。
(2) 「絵画が」↓「発見された」が主語と述語の関係。「昨年」↓「発見された」、「田舎町の」↓「民家から」↓「発見さ

る例を出しています。その後話題が変わり、この研究をめぐる否定的な声についてAで言及していますが、最後にCで、Aに対する反論と、筆者の意見を述べています。

第二問

(1) 直前の「冷やかな声」に対する答えとして適切な文になるようにします。直後の「〜に直結した研究」につながるのは「目先の利益」。

(2) 直後に「月の側」とあるので、対立する「太陽の側」が入ります。

(3) 起潮力の説明なので、「潮の満ち引き」が入ります。

(4) 直前のDで、野菜の成長を促す要因として、潮の満ち引きを起こす「起潮力」は月の引力などが作用する力であると説明しています。直後に「潮の満ち引き」があるので、空所に入るのは「月の満ち欠け」。

第二問

(a) 直前の「太陽の〜ではないか」を指しているのが、「仮説」。

(b) 潮の満ち引きのリズムで野菜を育てる研究について、その将来性は計り知れないとしているのだから、「研究」。

(c) 山本さんは、起潮力が「成長」を促すという仮説を立てて研究をしています。

(d) 起潮力が動植物の育ちに与える「影響」が大きいので、レタスの収穫量が増えているのだと考えられます。

第四問

一般的に、野菜の成長に必要なのは太陽の光だと考えられています。本文では、月の満ち欠けのリズムに合わせて野菜の成長を促す研究が紹介されています。筆者は、Cで「この研究が秘める将来性は計り知れない」と述べています。ここで「太陽の側」とは、太陽のリズムに合わせて野菜を育てることであり、「月の側」とは、月の動きに合わせて野菜を育てることです。以上の内容を条件にしたがってまとめます。

《問題IV》 論理的思考力

(40点)

●解答

第一問

(1) 2人の関係が就任後間もなく辞任する事態になった。
(就任後間もなく2人の関係が辞任する事態になった。)

(2) 電子メールやSNS等の通信手段の発達により年賀状の発行枚数は減少した。
(年賀状の発行枚数は電子メールや

SNS等の通信手段の発達により減少した。)

第二問

食品ロスを削減するために、事業者は規格外品の扱いや流通のルールを見直し、私たち消費者は意識を変えていくことが重要だ。

第三問

青年期は主観の情念にのみ固執してしまいが、中期になると、自己と対立する世界を認め、人生の現実世相を客観的に傍観する余裕ができる(ということ。)

■配点

第一問 各8点

第二問 12点

第三問 12点

◆解説

第一問

(1) 不要な語句は「相次ぐ」「影響を」です。
(2) 不要な語句は「習慣は」「衰退する」です。

第二問

食品ロスに関する文章です。規格外品の扱いや食品流通のルールに関する問題点が述べられた後、食品ロス削減のための取り組みを通して筆者の主張が述べられています。筆者は食品ロス削減のためにどうすべきだと考えているのかを中心にまとめます。

第三問

「青年期と中期以降を比較して」という条件に注意。傍線部直後に「若い時の生活が苦しいのは、精神上的の余裕がないから」とあり、傍線部「精神上での余裕を得たこと」とは対立関係にあることがわかります。一方、「然るに中期に入ってからと、余裕を得て来る」とあるので、傍線部の具体的な内容はここに書いてあるとわかります。「主観を捨てないまでも、客観的に傍観することの余裕を得て来る」とあるので、これと対立する「常に主観の情念にのみ固執している」の部分を青年期の説明に用います。

●解答

第一問

工

第二問

- ① オ ② ク ③ カ
④ エ ⑤ コ ⑥ ケ

《問題V》 論理的表現力

(40点)

(2) (a) 高い(大きい)

(b) 諸外国の将来への希望を持つ若者の割合が日本よりも高い。

第三問

諸外国と比較して、日本の若者は将来への希望を持っている割合が低い。一方で、自国人であることに誇りを持っている割合は諸外国と差がなく、自国のために役立つことをしたいという割合はいちばん高い。

■配点

第一問 5点

第二問 (1) 各2点

(2) (a) 2点 (b) 6点

第三問 15点

◆解説

第一問

ア フランスでも増えているので、×。
イ 日本の割合は諸外国より低いので、×。
ウ 日本の割合は低下しているので、×。
オ イギリスとドイツでも低下しているので、×。

第二問

(1) 資料2の数値を正確に読み取りましょう。その際、「将来への希望を持っている」は「希望がある・どちらかといえば希望があるの合計」であることに注意。
(2) 自分に満足している若者ほど将来への希望を持っている割合が高くなっています。このことから、将来への希望を持っている若者の割合が高いことは、自分に満足している若者の割合が高いと考えられます。日本以外の4か国の将来への希望を持っている若者の割合は日本より高いので、自分に満足している若者の割合も日本より高いと考えられます。

第三問

日本の若者の意識について、諸外国と比較してわかることを字数以内にまとめる問題です。

資料1から日本の若者は「将来への希望を持っている割合」が諸外国より低いことがわかります。次に、資料3から「自国人であることに誇りを持っている割合」が諸外国と同水準であること、「自国のために役立つようなことをしたい割合」がいちばん高いことを読み取りましょう。